

# 令和元年度 学校自己評価アンケート結果

## ○ 過年度比較

---

---

令和元年 1 2 月実施

玉野市立玉野商工高等学校

---

---

○ 過年度比較


上段 令和元年度 学校自己評価アンケート 集計結果 (12月実施 教員42人 保護者395人 生徒426人)


下段 平成30年度 学校自己評価アンケート 集計結果 (12月実施 教員41人 保護者236人 生徒408人)


\*グラフ中の数字は、各回答者群に占める百分率である。


回答選択肢

 はい・そう思う

 だいたいそう思う

 あまりそう思わない

 いいえ・そう思わない

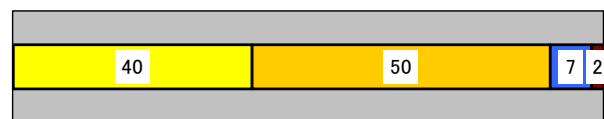
 わからない、無回答  
\*保護者のみ

教職員

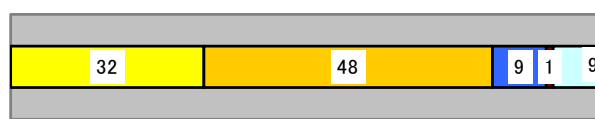
保護者

生徒

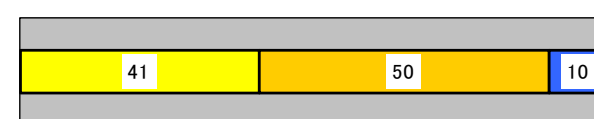
1 1\_T-1 生徒が校内で他者と協力関係が築けるように指導している。



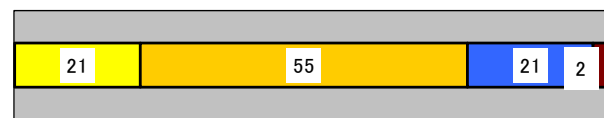
1\_P-1 お子様は、校内で他者と協力することができる。



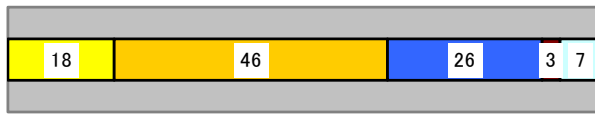
1\_S-1 自分は、校内で他者と協力することができる。



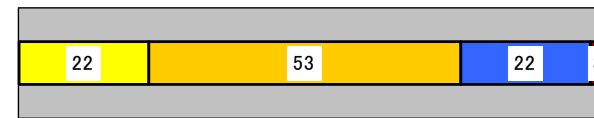
2 1\_T-2 生徒に地域の行事や文化などを理解させる教育活動ができており、自らも地域貢献活動に参加している。



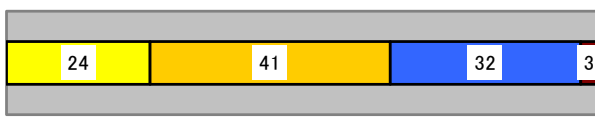
1\_P-2 お子様は、地域の行事や文化を理解している。



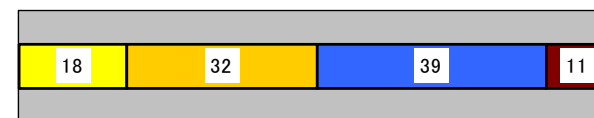
1\_S-2 自分は、地域の行事や文化を理解している。



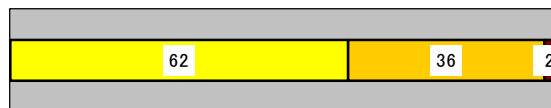
30\_P-2 子どもは、地域活性化やボランティア等、地域に出向いての活動に参加している。



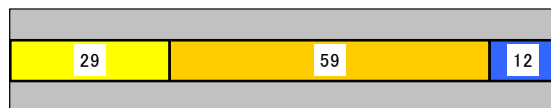
30\_S-2 地域活性化やボランティア等、地域に出向いての活動に参加している。



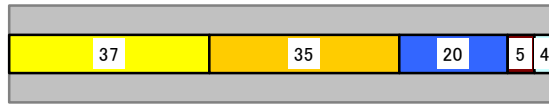
3 1\_T-3 学習習慣をつけるために課題を期限内に提出するよう指導している。



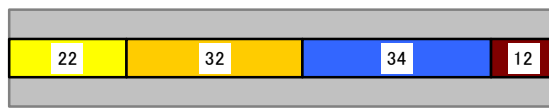
30\_T-3 生徒に家庭学習させるように適切な課題を提供している。



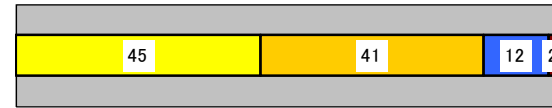
1\_P-3 お子様は、課題を期限内に提出するなど学習習慣が身についている。



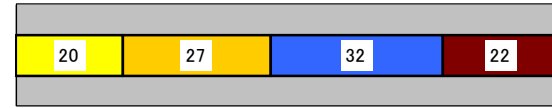
30\_P-3 子どもは、毎日30分以上の家庭学習を行っている。



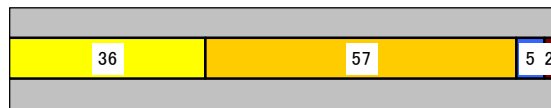
1\_S-3 自分は、課題を期限内に提出するなど学習習慣が身についている。



30\_S-3 毎日30分以上の家庭学習を行っている。



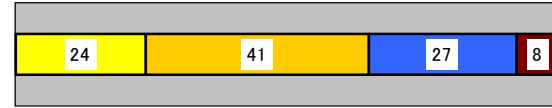
4 1\_T-4 未来手帳を活用させ、自己管理能力を育成する指導を行っている。



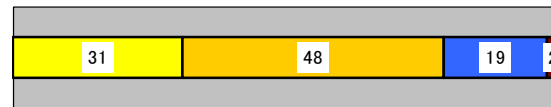
1\_P-4 お子様は、未来手帳を活用し、自分の行動が管理できている。



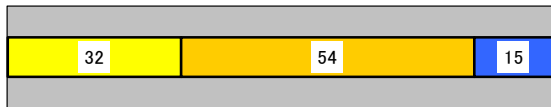
1\_S-4 自分は、未来手帳を活用し、自分の行動が管理できている。



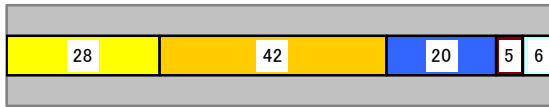
5 1\_T-5 将来を見通した資格取得になるように適切な指導を行っている。



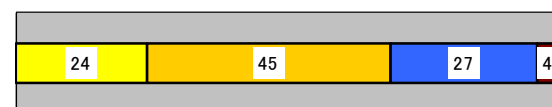
30\_T-5 生徒の基礎学力の向上や検定取得に向けての指導が十分できている。



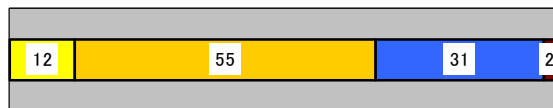
1\_P-5 お子様は、将来を見通して、資格取得に挑戦している。



1\_S-5 自分は、将来を考えて、資格取得に挑戦している。



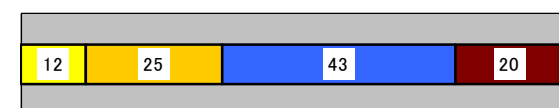
6 1\_T-6 学習活動を通して地域の課題について考えさせるように適切な指導を行っている。



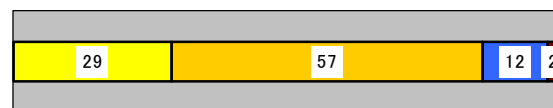
1\_P-6 お子様は、学校で地域の課題について学習している。



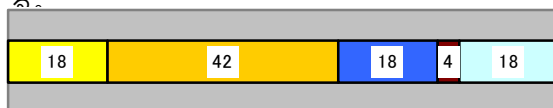
1\_S-6 自分は、授業中に地域の課題について考えることがある。



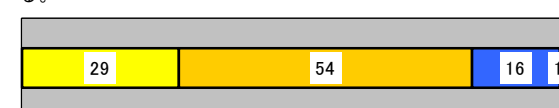
7 1\_T-7 授業改善に向けて、グループ学習、ペア学習や言語活動等を行い、人間関係形成力を育成する指導を行っている。



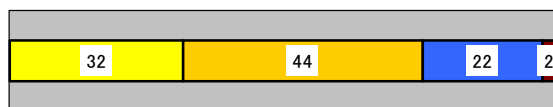
1\_P-7 お子様は、授業の中でグループ学習、ペア学習等を行い、人間関係を育成する学習を行っている。



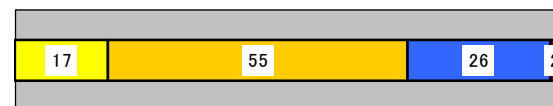
1\_S-7 自分は、授業中でグループ学習やペア学習ができ、自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞くことができている。



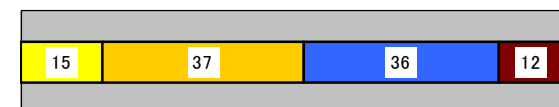
30\_T-7 主体的・対話的で深い学びの視点から、校内外で行われる教科に関する研修会等に参加して授業改善、スキル向上に努めている。



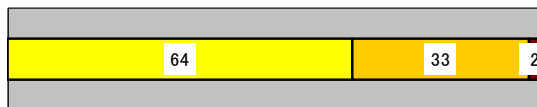
8 1\_T-8 育成したい資質・能力を図るために、GROUPシートを生徒の指導に活用している。



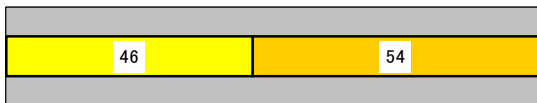
1\_S-8 自分の成長を振り返るために、GROWUPシートが活用できている。



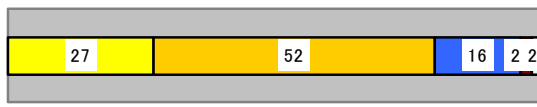
9 1\_T-9 社会のルールやマナーが身につくように指導を行っている。



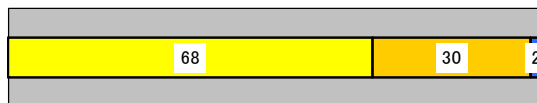
30\_T-9 家庭と連携して正しい服装・頭髪や社会のマナー、交通ルールマナーの指導を行っている。



1\_P-8 お子様は、社会のルールやマナーが身についている。



30\_P-8 子どもは、正しい服装・頭髪や社会のマナー、交通ルールマナーを守っている。



1\_S-9 自分は、社会のルールやマナーが身についている。



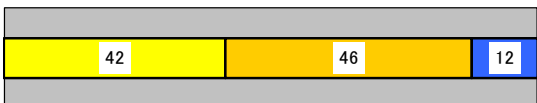
30\_S-9 正しい服装・頭髪や交通マナーを守っている。



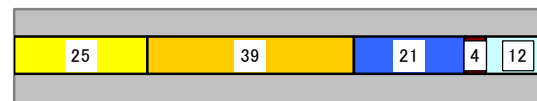
10 1\_T-10 校長の学校づくりのビジョンが浸透し、学校経営目標を理解でき、地域連携を意識して取組を行っている。



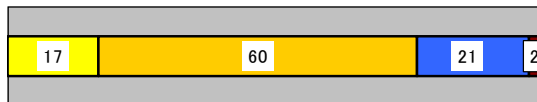
30\_T-10 学校経営目標を理解し、意識して取り組んでいる。



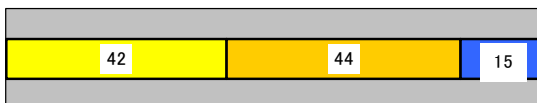
1\_P-9 学校は、地域連携を意識して取り組んでいる。



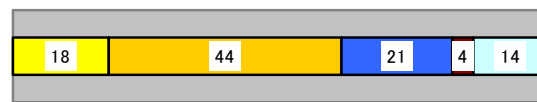
11 1\_T-11 学校の特色を明確にし、効果的な情報発信や広報活動を行い、自らも参画している。



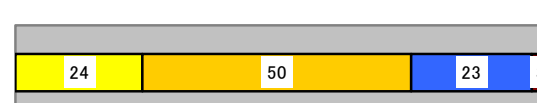
30\_T-11 学校の特色を明確にし、効果的な情報発信や広報活動を行っている。



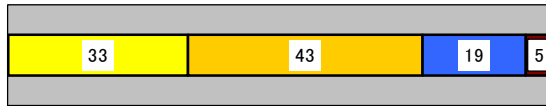
1\_P-10 学校は、特色を明確にし、効果的な情報発信や広報活動を行い、情報提供がされている。



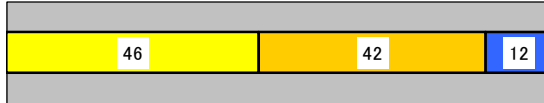
30\_P-10 学校はホームページ等で情報を家庭によく提供し、学校の様子がよくわかる。



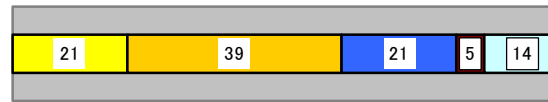
12 1\_T-12 SC（スクールカウンセラー）、SSW（スクールソーシャルワーカー）、外部関係機関等や教育相談室との連携をはかり、学年団で情報共有できている。



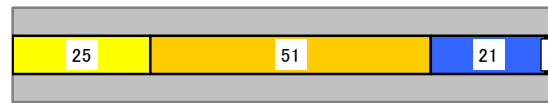
30\_T-12 スクールカウンセラーや外部関係機関等と連携するなど、校内外の教育相談体制が機能している。



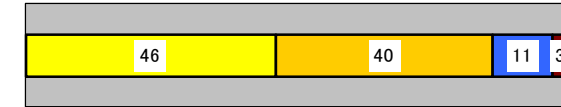
1\_P-11 学校にお子様についての相談ができる環境がある。



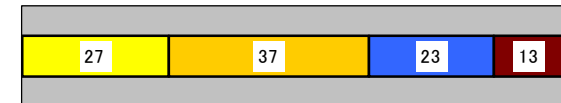
30\_P-11 自分の子どもについての相談を学校にできる。



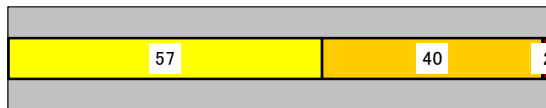
1\_S-10 自分には、困った時に相談できる相手が学校内にいる。



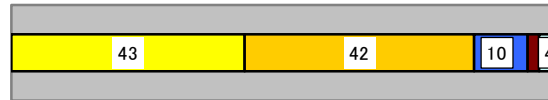
30\_S-10 困った時や悩んだ時に先生に相談できる。



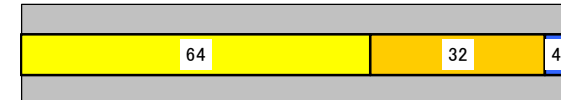
13 1\_T-13 日頃から生徒の言動を気にかけて、いじめの未然防止・早期発見に努めている。



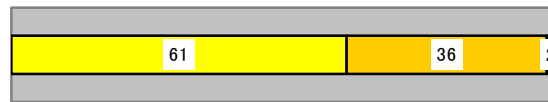
1\_P-12 お子様は、思いやりや命の尊さを大切に、いじめは許さない意識がある。



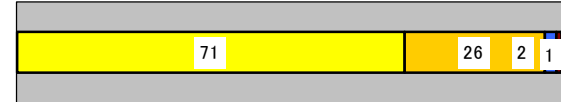
1\_S-11 自分には、思いやりや命の尊さを大切に、いじめは許さない意識がある。



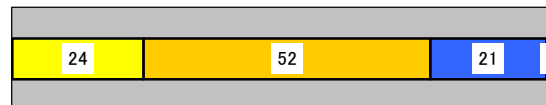
30\_P-12 子どもは、思いやりや命の尊さを大切に、いじめは許さないという意識がある。



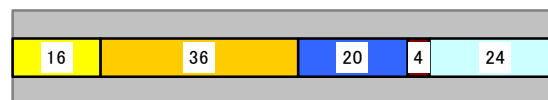
30\_S-11 思いやりや命の尊さを大切に、いじめは許さないという意識がある。



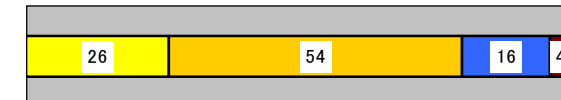
14 1\_T-14 特別支援教育の理解と実践力の向上を図るために、ユニバーサルデザインを意識した授業を行っている。



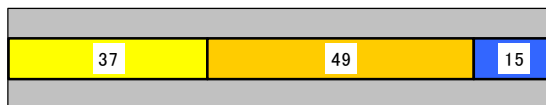
1\_P-13 先生は、わかりやすく授業を工夫している。



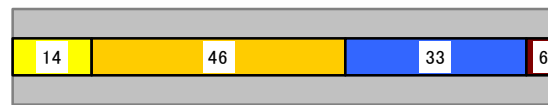
1\_S-12 先生は、わかりやすく授業になるように工夫している。



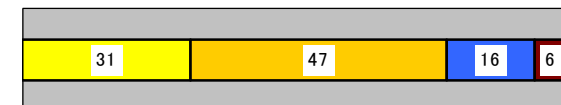
30\_T-14 特別支援教育に対する理解を深めている。



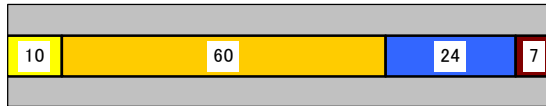
30\_P-13 先生方は、わかりやすい授業になるよう工夫していると子どもから聞いている。



30\_S-12 先生方は、わかりやすい授業になるよう工夫している。

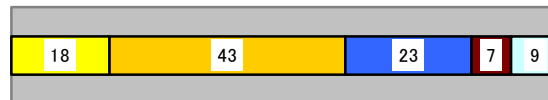


15 1\_T-15 個別の指導計画を活用し、生徒の指導に役立っている。

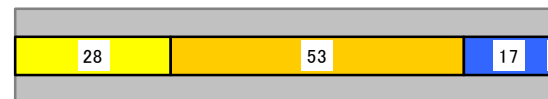


16

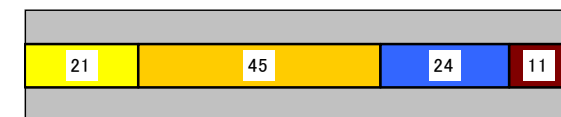
1\_P-14 お子様は、本校で学ぶことに充実感や満足感を持っている。



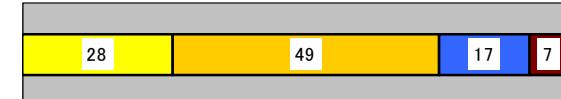
30\_P-14 子どもは、本校で学ぶことに充実感や満足感を持っている。



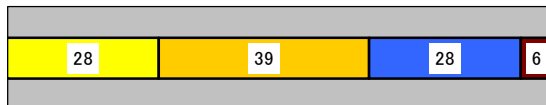
1\_S-13 本校で学ぶことに充実感や満足感を持っている。



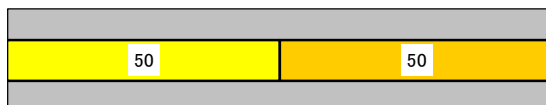
30\_S-13 本校で学ぶことに充実感や満足感を持っている。



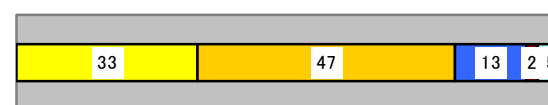
17 1\_T-16 校則や成績評価（評定平均・資格取得・欠席日数等）について生徒・保護者に説明し、家庭との連携ができています。



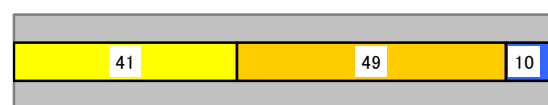
30\_T-16 生徒にシラバスに基づく授業評価方法を説明している。



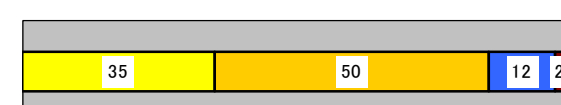
1\_P-15 お子様は、担任面談や保護者懇談を通して、校則や成績評価（評定平均・資格取得・欠席日数等）について理解している。



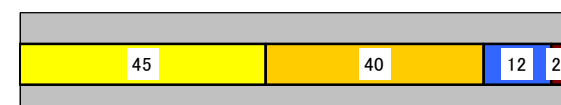
30\_P-15 こどもは、授業計画や評価（評定平均、検定、欠席日数等）について理解している。



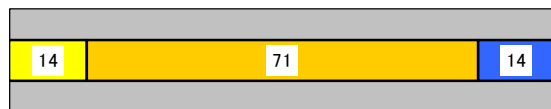
1\_S-14 自分は、担任面談や保護者懇談を通して、校則や成績評価（評定平均・資格取得・欠席日数等）について理解している。



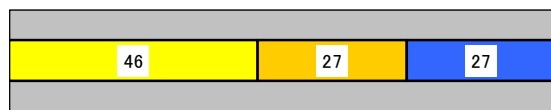
30\_S-14 授業計画や評価（評定平均、検定、欠席日数等）について理解している。



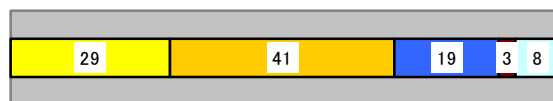
18 1\_T-17 インターンシップの体験が具体的な進路目標を考えるきっかけにつながっている。



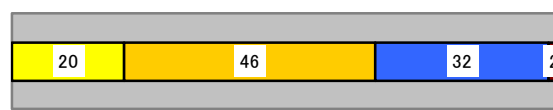
30\_T-17 学年に即した進路目標を意識して指導を行っている。



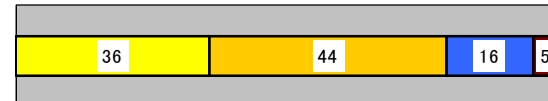
1\_P-16 お子様は、インターンシップを通して、具体的な進路目標を考えるきっかけになっている。



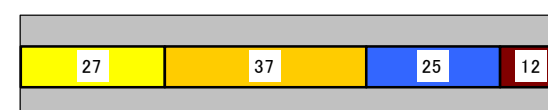
30\_P-16 子どもは、現時点で具体的な進路目標がある。



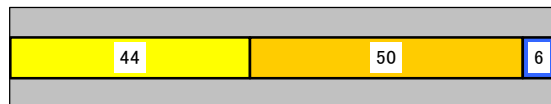
1\_S-15 インターンシップを通して、具体的な進路目標を考えるきっかけになっている。



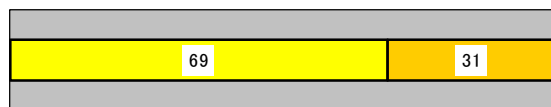
30\_S-15 現時点で具体的な進路目標がある。



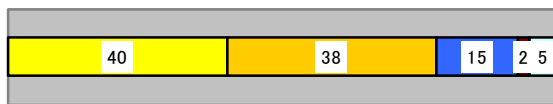
19 1\_T-18 生徒の希望した進路を実現させ、進路決定後も目標を持った学校生活を送る指導を行っている。



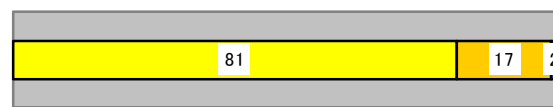
30\_T-18 学年に即した進路目標を意識して指導を行っている。



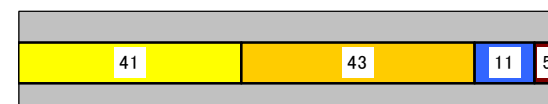
1\_P-17 お子様は、希望した進路が実現し、進路決定後も目標を持って学校生活を送っている。



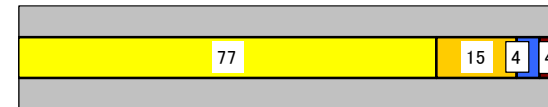
30\_P-17 子どもは、希望した進路を実現した。



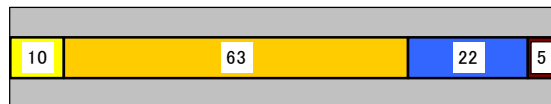
1\_S-16 希望した進路が実現し、進路決定後も目標を持って学校生活を送っている。



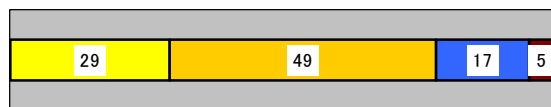
30\_S-16 希望した進路を実現した。



20 1\_T-19 教育活動の成果と課題（年間反省会議）が次年度以降に生かされている。

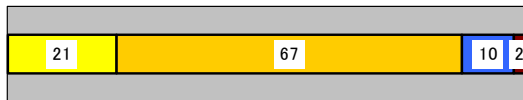


30\_T-19 教育活動の成果と課題（年間反省会議）が次年度以降に生かされている。

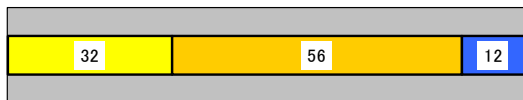




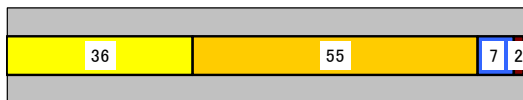
- 
- 21 1\_T-20 時間管理をしながら効率的な業務遂行を心がけ、自分自身の時間外勤務の削減に努力している。



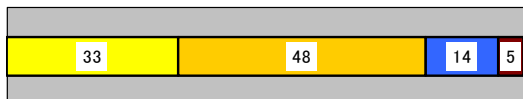
30\_T-20 タイムマネジメントをしながら効率的な業務遂行を心がけ、自分自身の時間外勤務の削減に努力している。



- 
- 22 1\_T-21 不祥事・セクハラ・パワハラ等の絶無を目指す取組が行われている。



- 
- 23 1\_T-22 教職員間で報告・連絡・相談等が行われ、情報が共有化されている。



30\_T-22 各課・教科が連携して生徒のコミュニケーション能力の育成に努めている。

